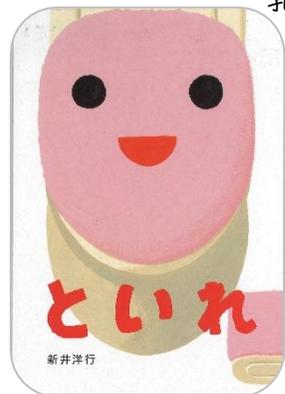


今月は「うんち」の絵本をご紹介します。「うんち」というキラワード。なぜか人生の一時、すごく連発されることばです。保育園のパパ・ママも頭を悩ませる時が必ずありますよね。冗談では済まされないおじいちゃん・おばあちゃんの前でも、スーパーで買い物中でも「うんち」「うんこ」をお子さんに連呼されたことがあるのではないのでしょうか。そんな時はどうする??というのはまた別の機会にして、今月は「トイレトレーニング」や幼児さんの知的好奇心「からだのしくみ」を知る時に役立つ「うんち」の絵本です。



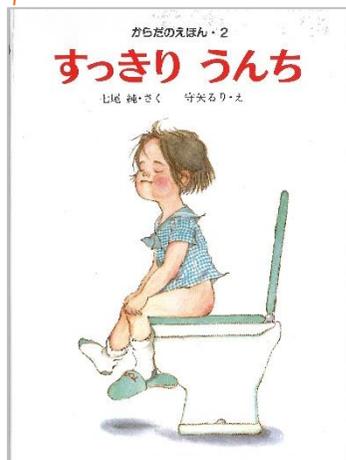
乳児さん向き 「といれ」 そのままの題名です。ちょうどトイレトレーニングが始まる乳児さんでも手に持ちやすいサイズ感です。縦にページを開くのですが、まるでトイレの蓋をあけるようです。最初はトイレの全貌が。みんなのおうちと同じトイレ。ページを進めると蓋が開き、補助便座を付けて。すると元気そうな子が便器にまたがり、さあ「うんちさーん」「う～ん」とかんでいます。「でた」「ばいばーい」と嬉しそうです。すっきりのお顔ですね。

いやいや姫やイヤイヤ王子をトイレに誘う時にも活用できそうです。 偕成社 作・絵 新井洋行



「おトイレさん」 森の中を歩いている「おトイレさん」のおトイレで、おトイレする子はどこにいるかな？ 森で出会う動物たちが、我慢できなく困ってます。おトイレさんを見つけて「おトイレさん、おトイレさせてー」「おトイレさん さようなら」「おべんきで」なんてダジャレもはいつて面白いことばも出てきます。

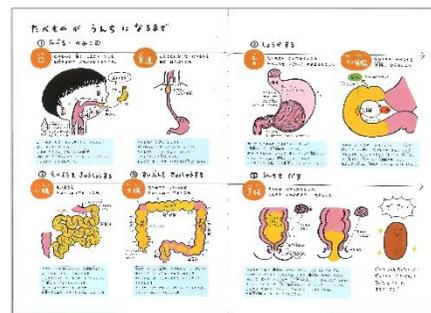
「おトイレにいったいれ」 楽しくトイレに行ける魔法のことばのようです。2歳児さんでも十分わかるお話です。 トイレトレーニングが本格的になる時期。楽しめそうです。 教育画劇 作・絵きたがわめぐみ



「すっきり うんち」 あかね書房(からだのえほん 2) 作・七尾 純 絵・守矢るり 「そのとき うんちは どこにいる？」 日本看護協会出版会 作・きたがわめぐみ こちらの2冊は少し大きい子むけ。ウンチは我慢しないで、毎朝すること、大事だよ。そして、人は食べ物を食べるとからだの中ではこんな感じになって、「うんち」になっていくんだ



って。食べ物の好き嫌いでも食事が偏ってしまうと「便秘」になりがち。また、小学校へあがった時に、慣れないトイレではうんちができない子も増えています。だからこそ、朝食後に「💩タイム」がくるように習慣づけをしたいです。親子でうんちについて一緒に学ぶのも楽しそうです。



「いちにちうんち」 なんとこの絵本 帯に「ついにでた うんちが好きなお子様に。」とあります。中見せはやめておきますね。ふざけているようですが、ふざけた絵本ではありません。この絵本を読んで、将来研究者を目指すきっかけになるかもしれません。絵本ってやっぱり学びなんだな... そんな気持ちにさせてくれる1冊です。 4・5歳向けです。 PHP 研究所 作・ふくべあきひろ 絵・かわしまななえ

